

令和4年度 実施事業の概要

教育事業名:プログラム体験会・夏

期間 令和4年5月29日(日)、31日(火)

対象及び参加人数:大学生 学校教員 その他 12名

目的:

- ・ 利用団体引率者等の研修機会とし、妙高のフィールドや身近なフィールドでの指導技術の向上を目指す。
- ・ 自然体験指導者としてのスキルアップを図る。

事業概要:

上記目的のため、事業を実施した。12名(社会人9名、大学生3名)が参加した。

週休日と平日の2日開催とし、当施設で6月～9月に多く行われる活動プログラムの体験会とした。

各講習及び講師は、以下のとおりである。

【妙高アドベンチャー】: 柏川 敦史 (国立妙高青少年自然の家 職員)

【源流探検】: 鹿島 真由美 (国立妙高青少年自然の家 職員)

【森探検】: 鹿島 真由美 (国立妙高青少年自然の家 職員)

成果:

6月～9月に当施設で多く行われる妙高アドベンチャー、源流探検、森探検の体験を行った。29日(日)は8人、31日(火)は4人が参加した。週休日、平日と2日間の開催としたことで、参加者は自分の仕事や生活に合わせて参加しやすい方を選択することができた。

午前中に妙高アドベンチャー、午後に源流探検と森探検のプログラム体験を行った。

各プログラムを実際のフィールド、道具等を使って行ったことで、当施設で指導する際にすぐに役立つ情報を伝えることができた。また、安全管理の面では施設職員が日頃子どもたちに行っているセーフティトークや活動中の諸注意を伝達することができた。

参加者の中には、6月に勤務校の子どもたちを引率して当施設を利用した教員がいて、本研修で学んだことを生かして源流探検の指導を行っていた。子どもたちの活動の見通しがもてたことと、研修で学んだ観察のポイントを指導に生かされたことが良かったと、利用後におっしゃっていた。



課題:

6月～9月に当施設を利用する学校の教員にフィールド、活動内容を知っていただくことを目的に本事業を計画したが、そういった参加者は少なく、すでに自然体験活動の指導者として活動している方や、これから指導者を目指す方が多かった。プログラム体験会の目的や対象を精査し、ニーズに応じた研修ができるようになっていきたい。